

## 2021年度第7回定例理事会議事録

第7回定例理事会を下記のとおり開催し、議事等に係る質疑及びその経過並びに決定事項等は以下のとおりでした。

### 記

- 1 名称 2021年度第7回定例理事会
- 2 開催日 2022年3月16日(水) 11:00~12:30
- 3 場所 白井市公民センター・2Fレクホール
- 4 出席者 出席者、欠席者  
理事・監事 野水俊夫、駒村武夫、尾籠和彦、藤本秀樹、栗原光弘、  
白石浩巳、秋山浩輝、人見則夫、津覇賢吾、木村光夫、高橋 誠、  
野中智典、松下義一、中村恭次、徳丸大祐、佐野忠信、伊藤仁、  
篠原潤一、坂本龍悦、遠藤禎之、阿部利明、奥村富央、平林 繁、  
山口裕矢、高橋正信、藤野邦夫、佐藤 誠、櫻井貞宏、湯浅信一郎  
幹事 森田和男、長江正光、今関祐紀、高橋宏幸、鶴田恵子、菅原 正、  
上村直毅  
青年部 山口裕矢 顧問 白山良一、日色進  
船橋労基協・白井支部長 倉持忠勝  
事務局 染谷敏夫、梅本真己子、塚原幸恵

### 《白井市産業振興ビジョンの説明》

議事に入る前に白井市産業振興課から今年度策定した白井市産業振興ビジョンの概要の説明があった。(産業振興課：金井課長、黒澤、綿崎)

- \*特に質疑はなかったが、本ビジョンは市のホームページに掲載されているので、聞きたい事項などがあれば直接産業振興課へ問い合わせるか、当協議会事務局に問い合わせさせていただくこととする。

### 5 議 事

議長は、次の4議事について、順次、説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から説明と提案があり、直ちに、議事毎に慎重審議した結果、すべて全員一致をもって承認可決した。

#### 第1号議事 2022年度事業計画(案)の件

2022年度の事業計画(案)については、コロナ禍にあつての協議会の最適な運営等の取組み及び工業団地を含めた地域のまちづくり協議会設立に伴う地域との連携を加えた計画としており、その内容は、別添の事業計画書(案)及び会議・行事・講習会等の開催予定表のとおりとする。

- \*交通安全、防犯、防災などは、地域と共に行うことでより効果が期待できる。  
また交通規制などは、地域の方々の理解・協力が必要な場面があるので、連携は必要である。

#### 第2号議事 2022年度収支予算(案)の件

2022年度の収支予算(案)については、新型コロナワクチン職域接種に係る経費を計上するとともに、講習会の取止め及び開催回数の減等による収入の減が見込まれる

ことから、事務経費等の削減に取り組むこととし、別添の収支予算書（案）のとおりとする。

\* 予算案は、最終的な決算の状況を勘案し、今後微調整を行うことがあり、その際は次期理事会において説明をさせていただくこととする。

### 第3号議事 第14回（2022年度）定時社員総会の開催日程の件

第14回定時社員総会の開催日時、場所及び議事に付する事項について、次のとおりとする。

- 1 日 時 2022年5月18日（水） 午後2時30分から
- 2 場 所 白井市公民センター 2階レクホール
- 3 議事事項  
第1号議事 2021年度事業報告承認の件  
第2号議事 2021年度収支決算承認（監査報告を含む）の件  
第3号議事 2022年度事業計画（案）承認の件  
第4号議事 2022年度収支予算（案）承認の件  
第5号議事 役員選任（全理事・監事）の件

### 第4号議事 入会承認の件（3社）

以下の正会員3社の入会の承認を求める。

#### 正会員－1

- ①名 称：千葉グリーンエナジー株式会社
- ②代表者：代表取締役 菅原 和夫
- ③所 在：白井市名内1058 第1ブロック
- ④業 種：発電機の販売、小規模卸売電気事業の普及促進事業、燃料削減装置の販売、電気の販売など
- ⑤従業員数：4人

#### 正会員－2

- ①名 称：合同会社MIKコンサルティング
- ②代表者：代表 木下 基浩
- ③所 在：白井市堀込2-1-2-110 第6ブロック
- ④業 種：事業拡大支援、新事業モデル提案・新築支援、事業パートナー紹介、人材育成、能力開発教育など
- ⑤従業員数：2人

#### 正会員－3

- ①名 称：有限会社ランディックスガーデン
- ②代表者：代表取締役 金子 進
- ③所 在：白井市根633-1 第6ブロック
- ④業 種：造園、土木、建築など
- ⑤従業員数：8人

## 〔協議事項〕

### 第1号協議 次期役員の改選の件

役員の任期は、2年となっており、次期定時社員総会をもって任期満了により全理事

及び監事が改選となります。

ついては、現理事及び監事については、諸事情があると存じますが、当協議会の継続性等を勘案していただき可能な限り引き続きご就任をお願いしたい。

なお、会員の中から推薦をしたい適任者がいましたらご紹介をしていただきたい。

\* 近日中に意向確認をさせていただくこととする。

## 〔報告事項〕

### 第1号報告 新型コロナワクチン職域追加接種（3回目）の実施の件

追加職域接種については、対象者を次のとおりとし、以下の計画により実施する。

これまでに約2,700人（3/11現在）の申込みがある。

#### 〈対象者〉

2回目を完了してから7ヶ月が経過し、追加の接種券を持っている18歳以上の者で以下に該当する者とする。

- ① 2回目を当協議会で接種した者
- ② 当協議会の会員の従業員及び従業員の同居家族で新たに接種を希望する者

#### 【職域追加接種計画】

- 1 実施主体：一般社団法人白井工業団地協議会
- 2 協力医療機関：平和台病院（我孫子市）
- 3 実施会場：白井市公民センター（2Fレクホールほか）
- 4 実施日：下表のとおり

#### 〈3回目職域接種〉

グループ	接種日	時間	対象者 (2回目を接種した日)	
			当協議会で以下の日程で接種した者	新規・追加で申込む者
A	3月27(日)	8:00~17:00	昨年8月22日	昨年8月26日以前に接種
B	4月3(日)	8:00~17:00	昨年8月29日	昨年9月2日以前に接種
C	4月10(日)	8:00~17:00	昨年9月5日	昨年9月9日以前に接種
D	4月24(日)	8:00~17:00	昨年9月12日 昨年9月21日	昨年9月23日以前に接種

- 5 接種時間：8:00~17:00（予定）
- 6 ワクチン：モデルナ社製（18歳以上が対象、2回目接種から7ヶ月以上経過）
- 7 接種予定者数：全体で3,600人、最大1日900人（社員及びその同居家族が対象）
- 8 駐車場：白井市公民センターのほか、周辺事業所の駐車場を借用

※ 今回の職域接種の実施に当たっては、接種1回につき1,500円を限度に会場運営費（実費相当額）が助成される。

\* 1・2回目接種者が3,400人だったのに対し今回に追加接種では大きく減少している。原因は、モデルナ社製ワクチンについては、副反応等の関係から敬遠されているようである。

また、自治体が2回目接種から6か月としているのに対し、職域接種は7か月とされていることから自治体での接種に移行している。

## 第2号報告 当初（1・2回目）の新型コロナワクチン職域接種の実施に伴う 助成金の件

接種終了後、助成金問合せをしていましたが、本年1月に千葉県から補助要綱が示されたため、以下のとおり申請しました。

総事業費	3,974,142円（内、会場使用料525,001円（減免）を含む）
補助対象事業費	3,386,909円（駐車場借上げの謝礼及び飲物代が対象外）
補助要望額	<u>3,386,000円（支出実費額）</u>

※ 補助限度額：6,751,000円（補助対象接種回数6,751回×1,000円）

\* 4月後半に支払われる見込みである。

## 第3号報告 企業バス用駐車場の設置の件

予てより白井市に西白井駅南側ロータリーに企業バス専用の駐車場を設置するよう要望していましたが、今年度中に設置されることとなりました。

運用は、5月頃を見込んでいますので、今後活用していただくよう周知していきます。

・内容：2か所設置され、路面標示と看板が整備される。

## 第3号報告 雨水排水対策の件

予てより白井市にコスモテック（第2ブロック）及び江戸川製缶（第7ブロック）付近の道路等の冠水対策を実施するよう要望していましたが、来年度実施されることとなりました。

\* 工事の実施にあっては、台風や大雨のシーズン前にしていただくよう要請している。

## 第4号報告 白井第2小学校区みどりの里づくり協議会との連携の件

本年1月15日にこのみどりの里づくり協議会が設立されたことから、交通安全、防犯、防災、地域交流、環境対策などについて、当協議会としても地域と一体となって積極的に取り組んで行くこととする。

このことにより当協議会の認知度、必要性などをさらに高め、活動の充実を図ることを期待しています。

現在、この協議会に代表理事、副代表理事及び事務局職員が参加をしており、当協議会との連携を深めるよう取り組んでいきます。

## 〔その他〕

### 1) 印西地区環境整備事業組合のごみ処理基本計画検討委員会委員の件

\* 引き受けていただけるか提案したが、開催日の設定やコロナ禍での参加などから引き受け手がいない状況である。

また、工業系より飲食業や商業系が適任ではないか。

### 2) 白ナンバー事業者へのアルコールチェックの義務化の件

（安全運転管理者によるアルコールチェックの義務化）

\* 本年4月から法律が施行され、10月から本格実施となるが、関係各社の取り組み状況を聞き、意見交換をした。

・青ナンバー事業者においては、スマホを活用したチェック体制（IoT活用）や24時間の安全運転管理者による対面チェックなどを実施している。

・白ナンバー事業者においては、ほとんどが現在体制の構築に向けた検討や調査を实

施している最中である。

- ・ある会社では、出勤時に全員チェックをしているところや、対面チェックができない場合は、検査機を携帯させてスマホ又はパソコンのオンライン電話でのチェックを行っている。
- ・IoTを活用した取り組みを検討しているところもある。
- ・現在、法施行に伴ってアルコール検査機が品薄で高騰しているようである。  
(東海電子社製が安価のようである。)
- ・安全運転管理者を増員(2人→5人)しての対面チェックを検討している。
- ・大塚商会が昨年からシステム機器を提供している。
- ・本格的な機器導入には、リースも有効な場合がある。

上記の決議等を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び監事がこれに記名押印する。

2022年3月17日

一般社団法人白井工業団地協議会理事会

代表理事 野水 俊夫

監事 栗原 光弘